

九都県市廃棄物問題検討委員会

平成26年 減量化・再資源化部会 事業実施状況

1 検討の経過

平成26年4月16日に開催された九都県市廃棄物問題検討委員会において、本委員会における平成26年度の取組内容を決定した。

減量化・再資源化部会における取組内容は次のとおりである。

(1) 3R普及促進事業

外食産業事業者との連携による食べきりの普及を継続するとともに、新たに調理方法の工夫などによる家庭での取組促進を図るため、リサイクルスクエアHP上で食品廃棄物削減の必要性や具体的な取組方法を周知することにより、食品廃棄物の削減を促進する。

(2) 容器包装発生抑制事業

小売事業者等と連携し、店舗において容器包装ダイエツト商品の紹介を行うなど、宣言事業者の取組成果を効果的に発信することにより、「九都県市容器&包装ダイエツト宣言」の取組への関心を高める。

また、宣言事業者の拡大を図る。

(3) リサイクル関連法等に関する要望

リサイクル関連法及び廃棄物処理法の見直しについて、事項を精査し、国に対して要望を行う。

2 実施状況

(1) 3R普及促進事業

3Rの中で最も重要となるリデュースの取組として、食品廃棄物の削減を図るため、外食産業事業者との連携による食べきりの普及を行うとともに、家庭での食品ロスを減らすため、リサイクルスクエア上で食品廃棄物削減の必要性や具体的な取組方法について周知した。

ア 食べきりげんまんプロジェクトキャンペーン

(ア) 「スマイルフォトコンテスト」の実施

外食店舗における食べきりの意識啓発を図るフォトコンテストを実施した。

連携事業者：6社

株式会社アレフ、株式会社コロワイド東日本、
サトレストランシステムズ株式会社、
株式会社セブン&アイ・フードシステムズ、
株式会社華屋与兵衛、ワタミフードサービス株式会社

実施店舗数：859店舗

埼玉県118（さいたま市18）、
千葉県117（千葉市26）、東京都422、
神奈川県202

（横浜市72、川崎市35、相模原市13）

募集期間：平成26年10月1日（水）～10月31日（金）



キャンペーンの様子



主なフォトコンテスト入選作品

(イ)「食べきりエコレシコンテスト」の実施

家庭における食品ロス削減の意識啓発を図るレシコンテストを実施し、受賞レシピを掲載した啓発リーフレットを作成した。

連携事業者：クックパッド株式会社

募集期間：平成26年10月6日(月)～10月20日(月)



募集ページ(上段)



結果発表ページ(上段)



募集・結果発表ページ
(共通下段)



(表面・裏面)



(中面)

リーフレット (A5)

イ 広報活動

食品廃棄物削減の必要性や具体的な取組方法とフォトコンテストやエコレシピコンテストの食べきり普及啓発キャンペーンの周知を図るための各種広報活動を実施した。

(ア) ラジオCMによる普及啓発

AM局（TBS「安住紳一郎の日曜天国」、FM局（NACK5）においてCMを放送した。

実施期間：平成26年10月1日（水）～10月31日（金）

放送回数：60秒生CM 2回（AM局）

20秒スポット 17回（FM局14回、AM局3回）

(イ) インターネットによる普及啓発

Yahoo! JAPAN等のコンテンツページにおいてキャンペーン情報を掲出した。

実施期間：平成26年10月1日（水）～10月31日（金）

掲出回数：8,804,370インプレッション



バナー画像

(ウ) 動画共有サービスを活用した普及啓発

YouTubeを活用した情報発信を実施した。



YouTube視聴画面例

(エ) ポスター掲出による普及啓発

域内の公共施設等においてポスターを掲出し普及啓発を実施した。

掲出期間：平成26年10月1日（水）～10月31日（金）



キャンペーンポスター

ウ 実施結果

- (ア) フォトコンテスト応募数 545点
- (イ) エコレシピコンテスト応募数 713点
- (ウ) キャンペーン期間中のホームページアクセス数 45,875ページビュー
- (エ) クックパッドページアクセス数 450,790ページビュー



Web サイト

(2) 容器包装発生抑制事業

「容器&包装ダイエツト宣言」の認知度の向上、容器包装減量化商品の購入促進などを図るため、小売業者等と連携し、店舗において容器包装を減量化した商品の紹介などの普及啓発活動を行った。

ア 九都県市ごみ減量いいね！キャンペーン

小売店舗における容器包装減量化商品の紹介するキャンペーンを実施した。

連携事業者：43社（小売業者12社、製造事業者31社）

業種	事業者名
小売業者 (12社)	イオンマーケット株式会社、 イオンリテール株式会社、株式会社エコス、 生活協同組合コープみらい、 生活協同組合ユーコープ、 株式会社セブン&アイ・ホールディングス、 相鉄ローゼン株式会社、株式会社ダイエー、 千葉県庁生活協同組合、富士シティオ株式会社、 株式会社マルエツ、ユニー株式会社
製造事業者 (31社)	アサヒビール株式会社、味の素株式会社、 味の素ゼネラルフーズ株式会社、 味の素冷凍食品株式会社、江崎グリコ株式会社、 株式会社エフピコ、花王株式会社、 カルピス株式会社、キッコーマン株式会社、 キューピー株式会社、玉露園食品工業株式会社、 キリンビール株式会社、 キリンビバレッジ株式会社、 サッポロビール株式会社、 サントリーホールディングス株式会社、 シーピー化成株式会社、株式会社資生堂、 ジョンソン株式会社、株式会社シンギ、 ダイセルパックスシステムズ株式会社、 中央化学株式会社、東洋製罐株式会社、 株式会社ニチレイフーズ、 株式会社日清製粉グループ本社、

福助工業株式会社、プリマハム株式会社、
 ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社、
 株式会社明治、メルシャン株式会社、
 山崎製パン株式会社、リスパック株式会社

実施期間：平成26年10月1日（水）～10月31日（金）

実施店舗数：75店舗

埼玉県 11（さいたま市4）、

千葉県 10（千葉市4）、東京都 14、

神奈川県40（横浜市15、川崎市5、相模原市5）



POPによるキャンペーンの様子



リーフレット（A5）

イ 広報活動

「容器&包装ダイエツト宣言」の認知度の向上とキャンペーンの周知を図るための各種広報活動を実施した。

（ア）実施店舗の店頭での普及啓発

九都県市職員等も参加し、消費者へのPR活動を実施した。



イオン春日部【埼玉県】



マルエツ東習志野【千葉県】



コープ南浦和【さいたま市】



アリオ蘇我【千葉市】



そうてつローゼン磯子【横浜市】



アピタ長津田【横浜市】



ピーコック東小金井【東京都】



FUJI 上野川【川崎市】



イオン新百合丘【川崎市】



ダイエー横須賀【神奈川県】



ミア・クチア上今泉
【神奈川県】



エコス城山【相模原市】

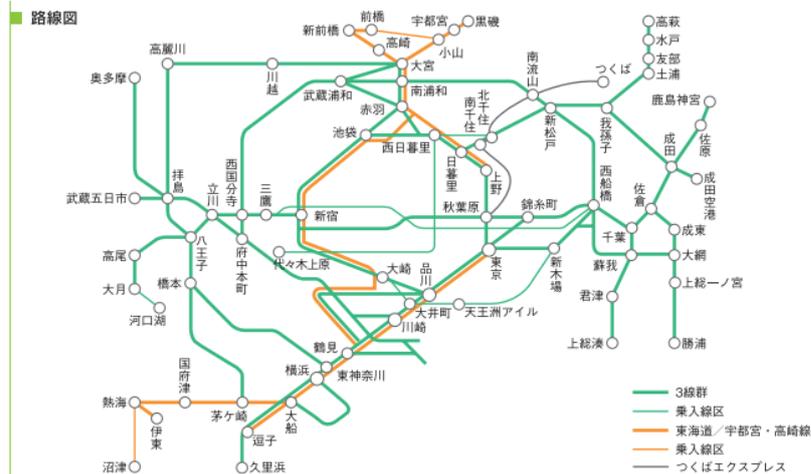
店頭PRの様子

【九都縣市廃棄物問題検討委員会 事業報告書】

(イ) 交通広告

九都県市の広いエリアをカバーする J R 東日本の 3 線群に窓上ポスターを掲出した。

掲出期間：10月1日（水）～10月5日（日）



※3線群（路線図上の緑色の線区）に掲出



窓上ポスター

(ウ) インターネットによる普及啓発

Yahoo! JAPAN等のコンテンツページにおいてキャンペーン情報を掲出した。

掲出期間：平成26年10月1日（水）～10月31日（金）

掲出回数：34,869,679インプレッション



バナー画像

【九都県市廃棄物問題検討委員会 事業報告書】

(エ) ポスター掲出による普及啓発

域内の公共施設等においてポスターを掲出し、普及啓発を実施した。

掲出期間：平成26年10月1日（水）～10月31日（金）



(店頭広告用)



(交通広告用)

キャンペーンポスター

ウ 実施結果

(ア) キャンペーン 応募者数 2,571人

(イ) ダイエツ宣言事業者数 75社

昨年度実績報告済事業者数 57社

(ウ) キャンペーン期間中のホームページアクセス数

19,943ページビュー

(3) リサイクル制度の見直し等の要望

容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、食品リサイクル法、小型家電リサイクル法、廃棄物処理法等の制度に関する問題点について課題を整理し、国に「リサイクル関連法等に関する要望書」を提出した。

要望日 平成26年10月20日（農林水産省、経済産業省、環境省）

要望内容については、51～55ページを参照のこと。

(4) ホームページの管理運営

事業の進捗に応じて「九都県市リサイクルスクエア」及び「容器&包装ダイエツ宣言」の各Webサイトにおいて、新規ページ作成やデータ更新等を行った。アクセス状況については、27～30ページを参照のこと。